

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネスコミュニケーションⅡ		（TCM205）
講義名（コード）	TCM_ビジネスコミュニケーションⅡ_A		（TCM205A）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	2
授業担当者	川本 千陽	時間数	30
成績評価教員	川本 千陽	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が自分とは異なる様々な主張を理解するために、様々な形式の文章から統合的に必要な情報を読み取れるようになる。
全体の内容と概要	医療を中心に様々な事柄の文章を読み、ディベートや発表などの活動を通してその事柄だけでなく他者の主張も深く理解していく。高度な日本語表現を習得する。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	チェックの仕方を確認し正確に読み解く力を身につける。	必修パターン読解 PART2 第1章 unit2 パワードリル文字語彙 第22回
2	ディクテーションを通じて日本語の細かな発音を聞き分ける。	聴解実践演習 パワードリル文法 第19回
3	指示詞を正確に把握することができる。	必修パターン読解 PART2 第1章 unit3 パワードリル文字語彙 第23回
4	ディクテーションを通じて日本語の細かな発音を聞き分ける。	聴解実践演習 パワードリル文法 第20回
5	文末表現に注目して正確に読み解くことができる。	必修パターン読解 PART2 第1章 unit4 パワードリル文字語彙 第24回
6	ディクテーションを通じて日本語の細かな発音を聞き分ける。	聴解実践演習 パワードリル文法 第21回
7	接続詞に注目して文章の流れを把握することができる。	必修パターン読解 PART2 第1章 unit5 パワードリル文字語彙 第25回
8	専門用語や初めて聞く言葉の中で意味を理解する力を身につける。	聴解実践演習 パワードリル文法 第22回
9	短文問題の正答率をあげる。	必修パターン読解 PART2 第2章 unit1 パワードリル文字語彙 第26回
10	専門用語や初めて聞く言葉の中で意味を理解する力を身につける。	聴解実践演習 パワードリル文法 第23回
11	中文問題の正答率をあげる。	必修パターン読解 PART2 第2章 unit2 パワードリル文字語彙 第27回
12	専門用語や初めて聞く言葉の中で意味を理解する力を身につける。	聴解実践演習 パワードリル文法 第24回
13	長文問題の正答率をあげる。	必修パターン読解 PART2 第2章 unit3 パワードリル文字語彙 第28回
14		後期期末試験
15		後期期末試験FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	必修パターン読解N1 必修パターン聴解N1 パワードリルN1 文字語彙・文法
参考文献・資料等	適宜プリント配布
備考	